

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 2月 22日

事業所名 スマイルキッズ鍋島

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			遊び、学習によってスペースを分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	3	1		2階建てのため、支援員の配置を1階、2階と決めて対応している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	2		現在玄関には手すりがないため、今後手すりの設置を検討する。利用者の状態に応じて、活動の場を設定している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	1	3			全職員で目標設定と振り返りを行い、業務改善に取り組めるように努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2		事業所評価のご意見を参考にして、出来る範囲でご家族の意向に沿うように対応している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			毎年インターネット上での公表も行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4		現在、第三者による外部評価を行っていない。今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			興味のある研修や、療育センターでの研修に参加している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			利用者様の状態をアセスメントし、保護者様のニーズを加えての計画を立てるよう取り組んでいる。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2			利用開始時の聞き取りの時に、事業所で準備したものを使用している。今後は標準化された、アセスメントツールの使用を検討していく。

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			長期休暇や学校休業日のプログラム立案はチームで行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	3			遊びの内容や、集団活動の内容は変更しているが、今後は週ごとや月ごとに変更していくように考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	3			平日、休日、長期休暇に応じて細かく設定ができるように、本人に合わせた課題を話し合っていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			作成できている。今後も継続していく。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	2		話合いの時間として特別に時間を設けていないが、場所ごとの担当を決めたりしている。	支援開始前後にミーティングを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2		気になる言動や行動がある時には、共有し振り返りを行い、今後の対応について話し合いを行っている。	支援開始前後にミーティングを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1			日々の記録を記載しているが、支援の検証までには至っていない。月に一度事例検討を行い、支援の検証や改善を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1		会議を行い、計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4			利用時間を考えて、制作活動や余暇活動等をスケジュールに入れるようにしている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1		出来るだけ、精通している担当者が参加できるようにしている。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	1		送迎時に、確認をしたり、気になる事の報告や、確認を行ったりしている。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	1	2		今年度は対象者がいない。必要な利用者がある場合は、検討していく。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1	1	サービス担当者会議に参加するようにしている。	保育所や、幼稚園、認定こども園との情報共有までは、行えていない。必要な場合は、保護者様の了解のもと情報共有をお願いしたいと考えている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			2	2		今年度は対象者がいなかった。対象者がいる場合は、情報の提供を行いたいと考えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1			研修には出来るだけ参加できるようにしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	2			現在コロナウイルスの感染予防のため、児童館などには行けていない。感染が収まってから、また利用をしたいと考えている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1			3		時間が合わずに、積極的に参加できていない。今後、開催が午前中の時には参加を検討したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				送迎時等に、その日の状態や気になっていること等を伝えるようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			1	3		現状は難しく、できていない。今後ペアレントトレーニングの研修に参加し、行えるようにしていきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1			送迎時に支援の内容や、外出時に利用者負担がある時には、前もって伝えるようにしている。	

31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1		相談を受けた時に、その都度行うようにしている。	
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	3		毎年保護者会を行っていたが、今年はコロナウイルスのため、実施できていない。感染が収まってから、保護者会の開催を行う。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			現在苦情は来ていないが、担当者を決めている。また、保護者様から要望があった時には、情報共有や話し合いを行い、対応している。	
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			月一回スマイル通信を作成し、利用者様の活動の様子や翌月の予定を伝えるようにしている。	
35	個人情報に十分注意している	4			スマイル通信等の写真や名前の掲載については、事前に同意を得てから行っている。また、個人情報の記載している文書の廃棄についてはシュレッダーを使用している。	
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			子供たちには絵カードを使用するなど配慮を行っている。保護者とは連絡帳や送迎時に伝達するように配慮している。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	3		現状では出来ておらず、またコロナウイルス感染拡大予防の観点からも実施は難しい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	3			マニュアルの作成は行っているが、保護者様への周知が行えていない。今後は保護者様へ周知できるように取り組んでいく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			年2回の火災訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			虐待防止の研修に参加したり、伝達講習を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		身体拘束については事業所での規定があり、必要な方には説明を行い、同意書をもってから計画に入れている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	1	2		現在対象者がいないが、対象者がいる場合は指示書に基づき対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2			記入例を作成しているが、なかなか記入できていない。今後は記入を促していく。